

東京 2020 オリンピック聖火リレー

益田市内を14名の聖火ランナーが駆け抜けました！

5月15日(土)に、東京 2020 オリンピック聖火リレーが益田市内で行われました。

市役所前をスタートし、医光寺総門前までの約 2.7kmを 14 名のランナーが笑顔でトーチを掲げて走り、聖火をつなぎました。

ランナーが次のランナーへトーチを受け渡す「トーチキスポイント」では、ランナーは思い思いのポーズをとることができ、各ランナーは、ランナー同士が事前に考えた、自身を表現するようなポーズをとっていました。



益田市の聖火ランナー（敬称略）

- | | |
|---------------|----------------|
| 第 1 区間：岩田 大輝 | 第 8 区間：大賀 誠一 |
| 第 2 区間：吉本 拓人 | 第 9 区間：今田 和成 |
| 第 3 区間：田淵 久美子 | 第 10 区間：梅谷 堅三 |
| 第 4 区間：中西 敏雄 | 第 11 区間：長谷川 太一 |
| 第 5 区間：宮崎 進也 | 第 12 区間：小林 健人 |
| 第 6 区間：長嶺 歩 | 第 13 区間：本橋 伸泰 |
| 第 7 区間：しゅう | 第 14 区間：渡辺 永絆 |

益田市名誉市民の田淵 久美子さんも聖火ランナーとして第 3 区間を走り、聖火をつなぎました。

田淵さんは益田市出身で、1985 年に脚本家としてデビュー以来、数多くのテレビドラマ・映画・舞台・ミュージカル等の脚本を手がけています。

走り終えて田淵さんは「(コロナ下で東京から益田に戻ることを) 迷ったけど、ふるさとで走りたかった。ふるさとの方たちに応援してもらえてとても幸せでした。」とコメントしました。



市内で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したことを受け、益田市の要請により大会組織委員会と島根県実行委員会との協議の結果、スタートとゴール地点の入場を制限し、無観客で開催することが、急きょ、聖火リレーの開催前日に発表されました。

このため、市役所前でのミニセレブレーション（出発セレモニー）は残念ながら無観客での開催となり、沿道での応援も控えていただくよう呼びかけました。



市役所前でのミニセレブレーションでは、第1区間ランナーの紹介、市長によるトーチの点火、フォトセッション等が行われました。

予定されていたウエルカムプログラムでの三谷神楽キッズによる神楽上演は中止になりましたが、お囃子と恵比寿さまがスタートを盛り上げました。

益田市の最終ランナーは、県指定無形民俗文化財「益田糸操り人形」を伝承する保持者会のメンバーの渡辺 永絆さんが務めました。渡辺さんは「『益田糸操り人形』を世界中の人に知ってもらいたい」という思いから聖火ランナーに応募しました。

トーチキスでは、前走者が人形役、渡辺さんが人形を操るポーズで「益田糸操り人形」をアピールしました。出走前に前走者から聖火ランナーに応募した理由を尋ねられ、思いを伝えたところ、トーチキスで「益田糸操り人形」をアピールする提案を受けたそうです。

渡辺さんは「トーチはがっしりしていて重くてびっくりした。すごく楽しかった。夢のようだった」とコメントしました。



聖火リレー当日は、市民の皆さまには交通規制等で大変ご迷惑をおかけしました。

また、聖火リレーの開催にあたり、101名のボランティアの皆さんに通行規制や迂回路案内、会場運営等、さまざまな業務でご協力いただきました。

おかげさまで、大きな事故やトラブルもなく無事に聖火リレーを終えることができました。ありがとうございました。



アイランドオリンピック自転車競技選手団による事前キャンプの中止について

益田市は、新型コロナウイルスの感染が拡大し、医療機関がひっ迫している現状を踏まえ、アイランドオリンピック委員会およびアイランド自転車競技連盟と協議した結果、アイランドオリンピック自転車競技選手団の事前キャンプの実施を中止することで双方合意しました。

益田市はアイランドのホストタウンです。
みんなでアイランド自転車競技選手団を応援しましょう！

